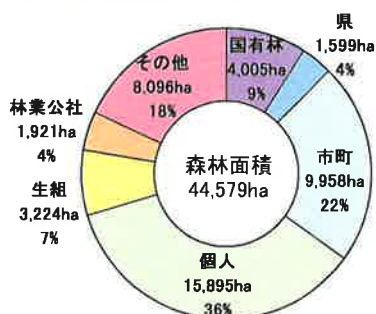


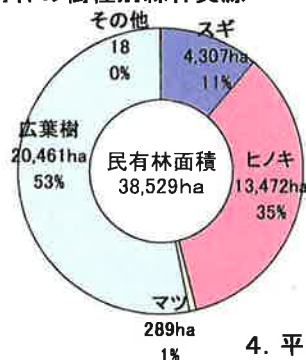
# 五島の森林・林業の概要（令和元年度版）

1. 五島列島は多くの島しょからなり、入り組んだリアス式の海岸部には風衝地が多く急峻である。林地は表土が浅く痩せているため林木の成長が悪い。
2. 五島の林野率は70%で、このうち民有林が92%を占めている。また、公有林が多く11,579haで民有林全体の28%あり、県内の他地域県平均13%に比べて高い割合を占めている。また生産森林組合(22組合)の森林面積が8%となっており、これまで入会林や共有林の整備が積極的に行われている。
3. 人工林率は約44%で県平均42%を若干上回っている。なお、人工林のほとんどはスギ、ヒノキで、中でもヒノキ(75%)の割合が多い。
4. 人工林の齢級は、8~12齢級(36~60年生)が全体の83%を占め、搬出間伐が可能な林分が増加している。
5. 平成30年度の森林整備面積は320haで、近年、搬出間伐(140ha)が増加しており素材生産量は5,872m<sup>3</sup>である。
6. 五島の平成28年次のツバキ油生産量は35.3KLで、県内で生産されるツバキ油の殆どを占め、全国でも有数の産地であり、平成28年、29年次の生産量は日本一となった。
7. 集中豪雨などによる山地災害から県民の生命・財産を守り、水源の涵養や生活環境の保全などを行うため治山事業を行っている。
8. 森林の適正な維持管理及び健全な林業経営を図るため、林道を積極的な整備を行っている。

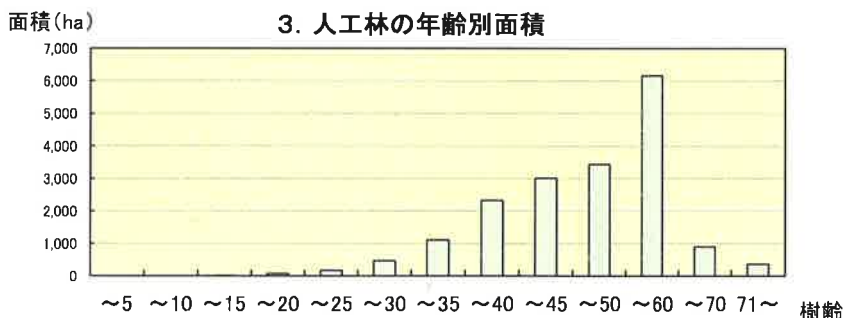
1. 所有形態別森林面積



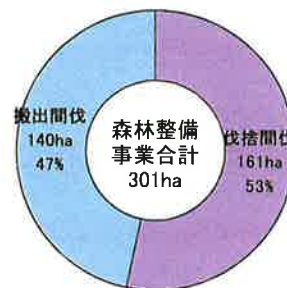
2. 民有林の樹種別森林資源



3. 人工林の年齢別面積



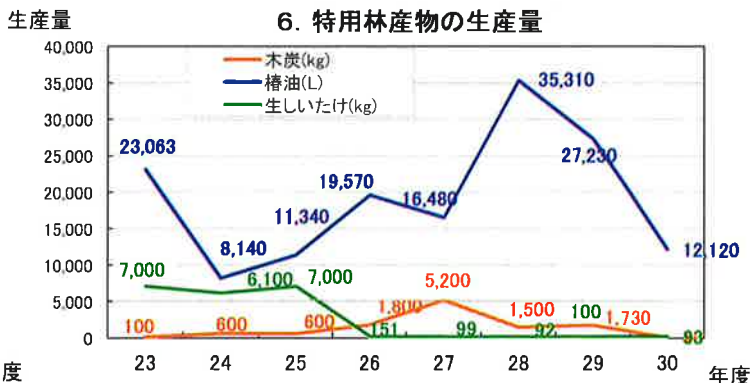
4. 平成30年度森林整備の実績



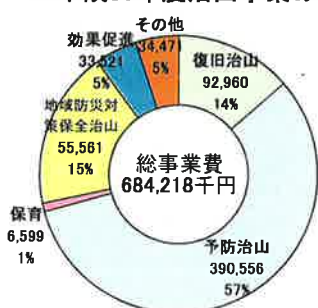
5. 素材生産量



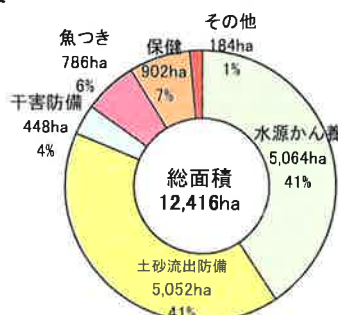
6. 特用林産物の生産量



7. 平成30年度治山事業の実績



8. 民有保安林面積(H31.3末)



9. 民有林林道等網整備計画

